

エコツーリズムプロジェクト・チーム員

私たちは、かけがえのない奥入瀬渓流の自然環境を保全するため、訪れる皆さんに自然の大切さを理解してもらい、永続的な保全と、自然環境を生かした持続可能な地域振興を図り、かけがえのない奥入瀬渓流を次世代へと伝承する「奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト」を協賛・応援しております。

協賛企業



田中建設株式会社
十和田市東一番町 2-50
Tel. 0176-23-3251



東北電力ネットワーク
十和田市西三番町 7-1 (十和田電力センター)
Tel. 0176-25-5001

ジェイアールバス東北株式会社青森支店、NPO法人青森県ウォーキング協会、上北農産加工株式会社、丸井重機建設株式会社、紺野建設株式会社、田中建設工業株式会社、株式会社中達組、一般財団法人十和田湖ふるさと活性化公社株式会社青工十和田支店、十和田おいらせ農業協同組合、程川電気工事株式会社、株式会社十和田ビルサービス

「奥入瀬自然博物館」協力

NPO法人 青森県ウォーキング協会 / NPO法人 十和田奥入瀬郷づくり大学
十和田湖畔の未来協議会 / NPO法人 奥入瀬自然観光資源研究会
青森県立三本木農業恵拓高等学校 / (一社) 十和田湖国立公園協会

「マイカー交通規制」スタッフ協力

国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所
環境省東北地方環境事務所十和田八幡平国立公園管理事務所
青森県 / 十和田市 / (一社) 十和田奥入瀬観光機構

2026年の奥入瀬自然博物館およびマイカー交通規制は、9月7日(月)～13日(日)に開催します。

新たな取り組みとして13日(日)には大型車および特定中型車やタクシー、ハイヤー、小特車も含めた完全交通規制を実施します。詳しい内容は、開催が近くなりましたら公開いたします。

みなさまと、また奥入瀬でお会いできることを楽しみにしています。

奥入瀬十和田活用協議会・奥入瀬渓流エコツーリズム実行委員会 一同



期間限定「奥入瀬自然博物館」区間 9/7(月)～9/13(日)
※この期間は、一般車両は走行できません。

奥入瀬渓流 Oirase Gorge



立ち止まるから、

Step inside nature's art gallery, where the forest and stream are the masterpieces.

Quality 上質な自然

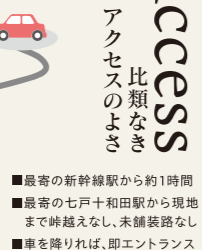


- 火山起源の谷に発達した、原生的な趣きを持たせた溪畔林
- 自然のままの渓流河川
- 空中湿度の豊かなU字型の谷に育まれた天然の「苔庭」

魅力と価値

奥入瀬渓流の

Access 比類なきアクセスのよさ



- 最寄の新幹線から約1時間
- 最寄の七戸十和田駅から現地まで徒歩なし、未舗装路なし
- 車を降りれば、即エントランス

Trail

優れた自然遊歩道

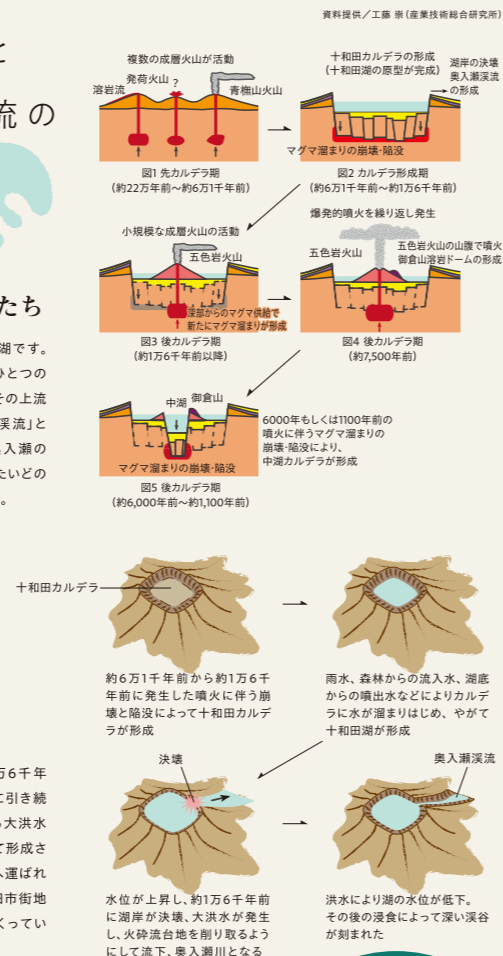
- 総延長14キロの遊歩道が原生的な溪畔林の奥中を貫通
- 歩道が渓流の水面とほぼ同じ高さで、親水性がきわめて高い
- 勾配がきわめて緩やか(1キロあたりの落差14メートル)
- 過剰な歩道管理(舗装や草刈など)が控えられている
- 車道が併走することでアプローチとエスケープがきわめて容易



十和田湖と奥入瀬渓流のなりたち

十和田湖のなりたち

奥入瀬渓流の源流は十和田湖です。十和田湖から流れ出すただひとつの川、それが奥入瀬川であり、その上流域約14キロが特に「奥入瀬渓流」と呼ばれているのです。では奥入瀬の源である十和田湖とは、いったいどのようにしてできたのでしょうか。



奥入瀬渓流ができるまで

奥入瀬の渓谷は、今から約1万6千年前に十和田カルデラの形成に引き続いて発生した湖の決壊による大洪水と、その後の浸食作用によって形成されたものです。その際、下流へ運ばれた大量の土砂が現在の十和田市街地の土台(三本木層状地)をつくっています。

エコロードフェスタHP



www.eco-oirase.com

エコロードフェスタ 検索

奥入瀬自然博物館

国道・遊歩道が神秘の回廊

期間限定交通規制期間
2025
10
27
MON
↓
11
02
SUN

Oirase Open-Air Museum of Natural History

エコツーリズムプロジェクト2025

実施報告書

奥入瀬十和田活用協議会 / 奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会

主催・お問い合わせ

奥入瀬十和田活用協議会 青森県 県土整備部 道路課 TEL 017-734-9651

奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会 (一社) 十和田奥入瀬観光機構 TEL 0176-24-3006

はじめに

奥入瀬渓流は、国の特別名勝および天然記念物に指定されており、苔庭のような景観が特徴的な、神秘的で美しいエリアです。巨木の豊かな森が広がり、貴重な苔などの植物や菌類、ミクロレベルの生物までもが自然のまま野外に生息しています。

当地域は、十和田八幡平国立公園の中でも最も保全基準の厳しい特別保護地区にも指定され、「日本の貴重なコケの森」にも選ばれている、豊かな自然環境・景観を良好に保全すべき地区にあたります。

一方で、観光シーズンには多くのかたが訪れることにより発生する交通渋滞や環境への悪影響などの様々な問題が生じています。これらの問題を解決するため、現在、奥入瀬(青楓山)バイパス事業が進められており、バイパス開通時には奥入瀬渓流区間の国道を交通規制する取組が進んでいます。

奥入瀬十和田利活用協議会・奥入瀬渓流エコツーリズムプロジェクト実行委員会では、平成15年からマイカー交通規制を実施し、バイパス開通時に完成する、未来の「奥入瀬自然博物館」をいち早く体験できる社会実験を実施しています。

これらの取組は、県内の企業の皆様からのご協賛と地元関係団体をはじめ多くの皆様から支えられて実施することができています。ここに、今年度の事業が無事に終了できたことを、事務局・スタッフ一同より深く感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご理解、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

CONTENTS

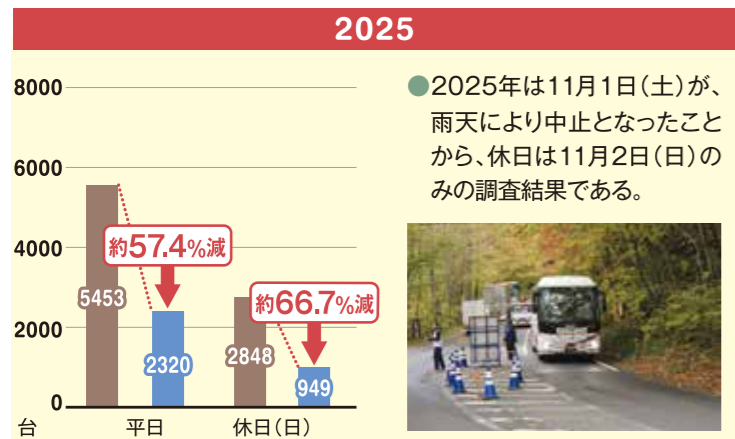
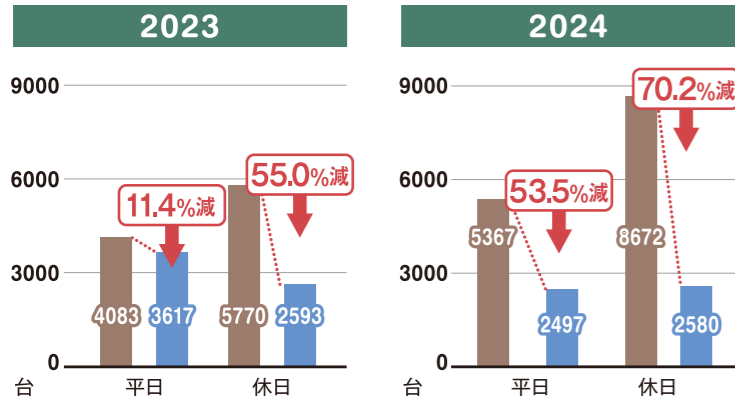
- 1 | マイカー交通規制実施結果
- 2 | 来訪者アンケート結果
- 3 | 奥入瀬自然博物館催行結果

1 | マイカー交通規制実施結果

シャトルバス運行による渓流区間の交通量の変化

渓流区間の交通量調査結果 [12時間交通量(7:00~19:00)]

- 規制期間外(平日):マイカー交通規制未実施時の木曜日と金曜日の12時間交通量の2日間合計値
- 規制期間外(休日):マイカー交通規制未実施時の土曜日と日曜日の12時間交通量の2日間合計値
- 規制時(平日):マイカー交通規制実施時の木曜日と金曜日の12時間交通量の2日間合計値
- 規制時(休日):マイカー交通規制実施時の土曜日と日曜日の12時間交通量の2日間合計値



1 | マイカー交通規制概要

運行日	10/27(月)	10/28(火)	10/29(水)	10/30(木)	10/31(金)	11/1(土)	11/2(日)
気象状況	晴れのち雨	雨	晴れ	晴れ	晴れ	大雨	晴れのち雨
運行時間	10:00~16:00					中止	9:00~16:00
シャトルバス	奥入瀬渓流温泉スキー場前 ⇄ 休屋 1日往復フリーパス 1,500円 約20~60分間隔					中止	8:00発~16:00発 バス15台
駐車場	無料:奥入瀬渓流温泉スキー場(計3箇所:340台) / 有料:休屋(計2箇所:640台)						

2 | シャトルバス運行結果の概要

シャトルバスチケット購入者数

10/27(月)	10/28(火)	10/29(水)	10/30(木)	10/31(金)	11/1(土)	11/2(日)
654人	390人	602人	697人	718人	中止	1,088人

《平日5日間合計》 3,061人
 《休日1日計》 1,088人
6日間合計 4,149人

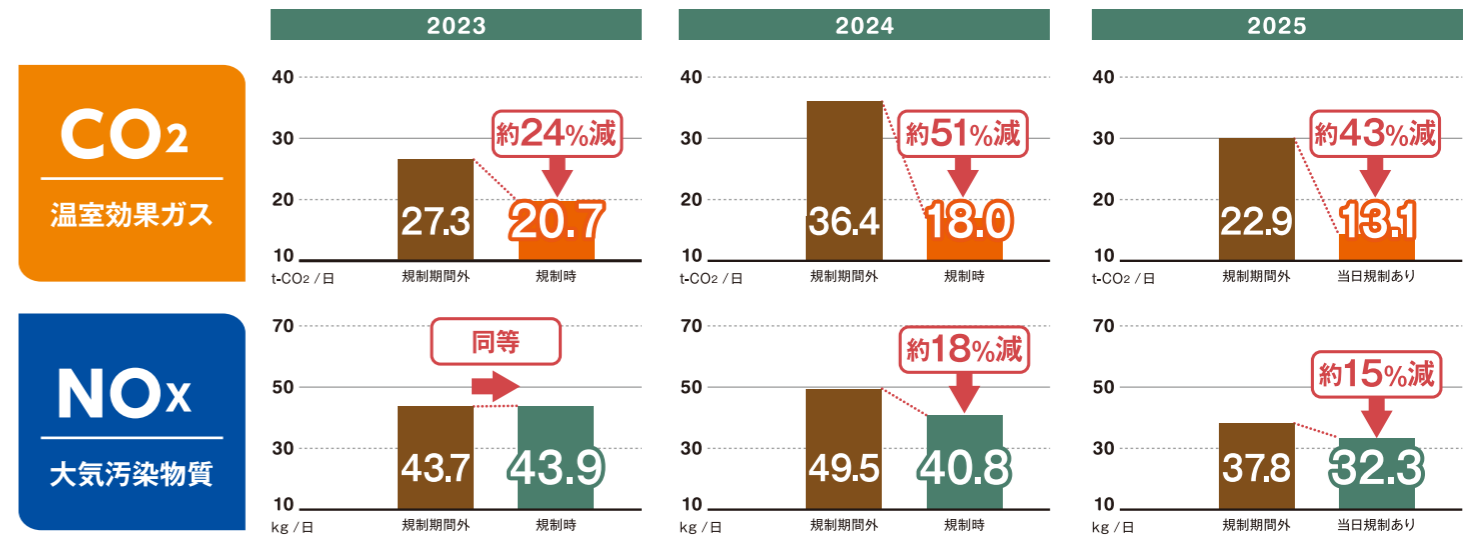
駐車場使用台数

平日	10/30(木)	10/31(金)	休日	11/1(土)	11/2(日)
678台	621台	中止	979台	中止	979台

《平日2日間合計》 1,299台
 《休日1日計》 979台
3日間合計 2,278台

CO2 温室効果ガス・NOx 大気汚染物質

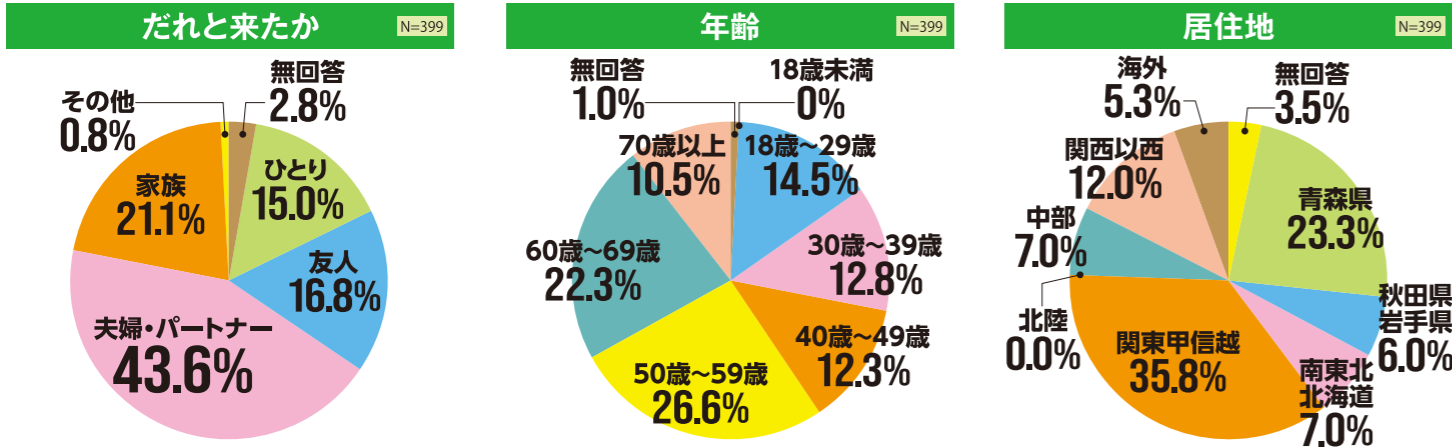
- マイカー交通規制の実施期間中および実施期間外における、CO₂(温室効果ガス)、NO_x(大気汚染物質)の算出をした。
- 2025年はマイカー交通規制の実施により、マイカー交通規制の実施期間外と比較してCO₂は約43%、NO_xは約15%減少した。



2 | 来訪者アンケート結果

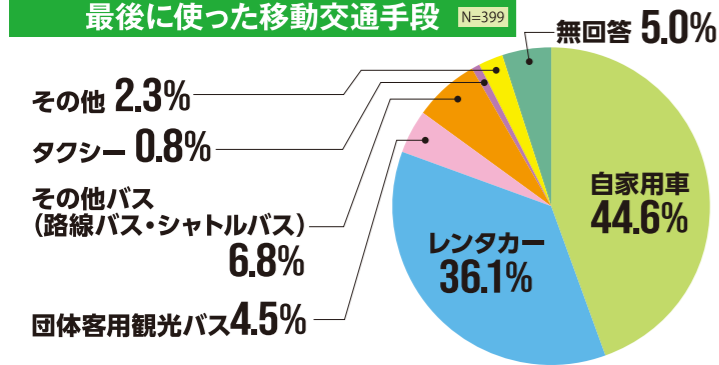
- 交通規制期間中の3日間、奥入瀬溪流温泉本部・休屋本部の2か所でwebによるアンケート調査を実施。
- 3日間で399人から回答が得られました。

来訪者属性

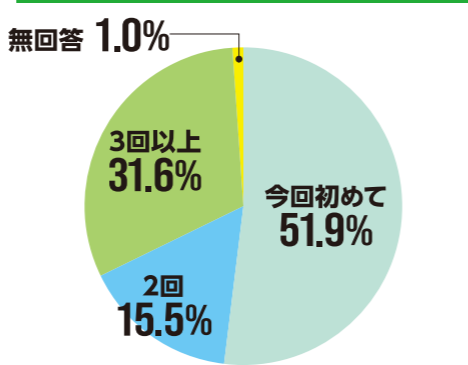


- 最も多い形態は夫婦・パートナーで、全体の43.6%
- 最も多い年齢層は50～59歳で、全体の26.6%。50歳以上が全体の6割と大部分を占める。
- 来訪者居住地については、海外は5.3%であるが、日本語によるアンケートであったことによる。実際はこれより多い印象。

奥入瀬溪流に到着するまでに、最後に使った移動交通手段



奥入瀬溪流を訪れた回数

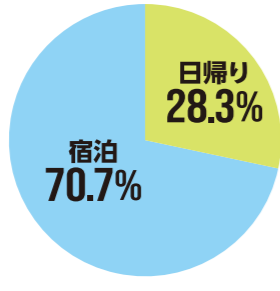


- 来訪者の80.7%が自家用車またはレンタカーで奥入瀬・十和田湖地域へ来訪している。
- 来訪者の51.9%が奥入瀬溪流を今回初めて訪れている結果となった。

宿泊

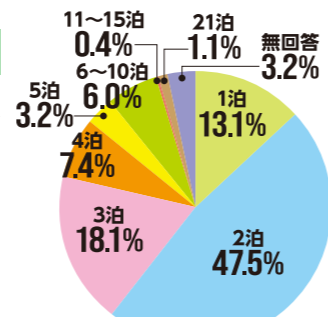
日帰り/宿泊

- 奥入瀬・十和田湖地域へ来訪する観光客は、70.7%が宿泊している。
- 青森県全体における日帰り客・宿泊客の構成比では、29.6%が宿泊客である。(出典:令和6年青森県観光入込客統計,p4)



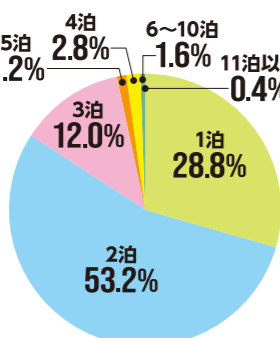
宿泊数

- 宿泊している方の宿泊日数は2泊が多い。



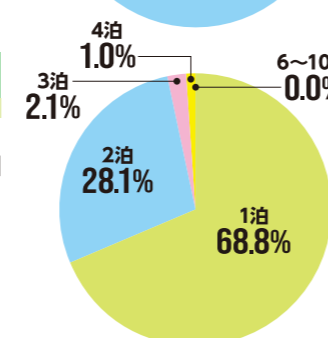
県内宿泊数

- 宿泊している方のうち、青森県内に宿泊した人数は、250人/282人=88.7%
- 宿泊日数は2泊が多い。



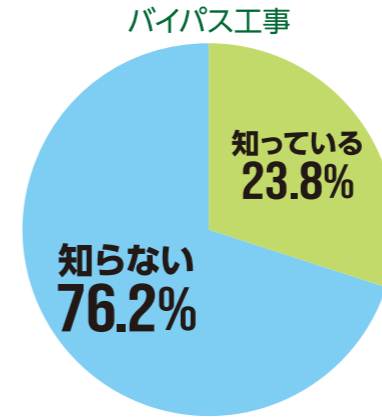
奥入瀬/十和田における宿泊数

- 青森県内に宿泊した方のうち、奥入瀬・十和田湖地域に宿泊した人数は、96人/250人=38.4%
- 宿泊日数は1泊が多い。

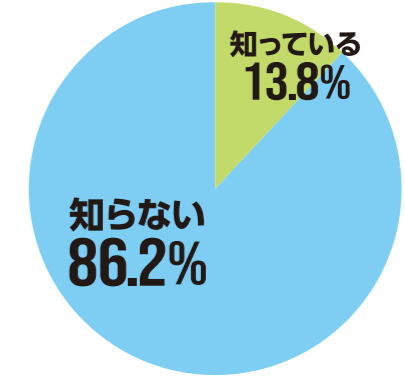


バイパス/交通規制の認知率

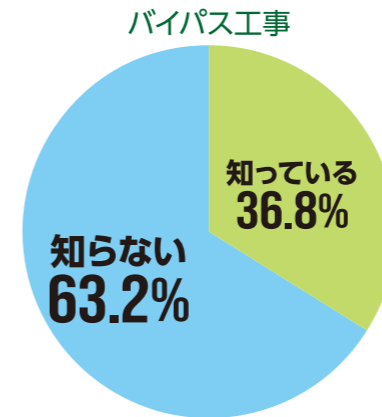
来訪者全体の認知率



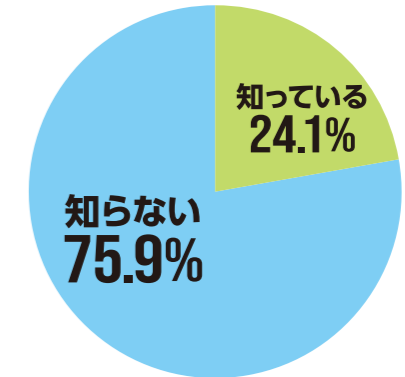
将来の交通規制



県内来訪者の認知率



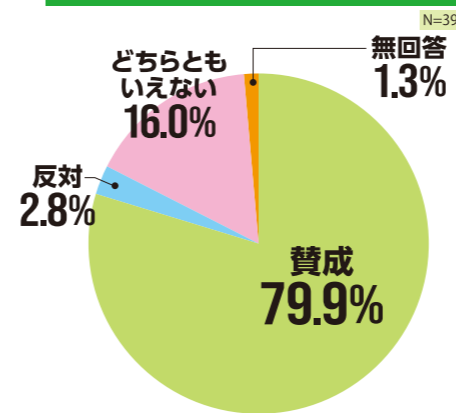
将来の交通規制



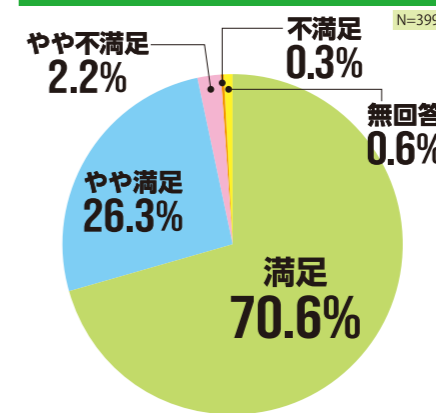
- 県内において、奥入瀬アカデミー(講座)や移動型のミニ博物館により発信することで、県内の認知率は全体より高くなっている。

総合評価

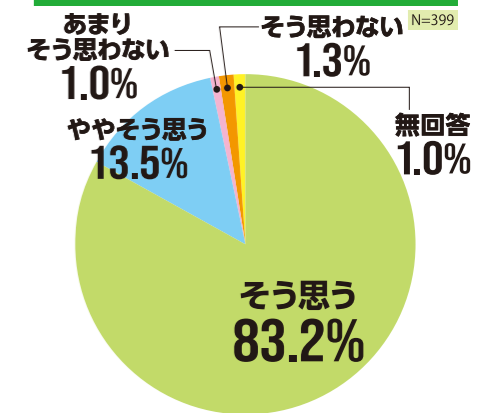
環境保全を目的としたマイカー交通規制の賛否



今回の奥入瀬溪流の訪問の総合満足度



奥入瀬溪流をもう一度訪れたいと思うか



奥入瀬溪流の鑑賞ルール5

- 1 遊歩道外へ踏み出さない
- 2 動植物を採らない/植物を折らない
- 3 迷惑駐車をしない
- 4 外来生物を持ち込まない
- 5 溪流の音を妨害する騒音を出さない

奥入瀬溪流は国立公園特別保護地区、特別名勝及び天然記念物に指定されています。

